
2025年度 第2回 介護医療連携推進会議

- 開催日時 2026年 3月9日(月) 15:00～16:00
 - 開催場所 在宅支援センター 甲州ケア・ホーム西側会議室
 - 参加者 地域住民代表者:川合、上野(※太田:都合により欠席)
笛吹市 :飯島、中澤
施設側役職員:関口、土橋
-

2025年度 第2回目の介護医療連携推進会議を開催いたしました。

1. はじめの挨拶

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション 関口事業所長より

年に2回開催する介護医療連携推進会議にて、当事業所の報告をさせていただき、皆さまからご意見をいただくとともに、適正な事業所運営を行うためのご指導をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

2. 議 題

◎ 事業所の現状報告について

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション 関口事業所長より報告

◆利用状況・訪問状況◆

令和8年3月現在 定期巡回サービス利用者 9名で推移

- ・利用者の動向(令和7年8月～令和8年1月の実績)
新規利用者 6名
利用終了者 5名(県内施設へ入所・病院へ入院:3名、家族支援:1名、死亡:1名)
- ・利用につながらなかったケース
他サービスとの関係で限度額オーバーになり、サービス調整ができない(毎年の課題で大半を占める)
要介護度に見合わない過度な要望(回数・サービス内容)
- ・地域別
石和7名、御坂2名、一宮1名、八代1名(境川・芦川の利用者なし)
- ・介護度別利用者数
要介護1:2名、要介護2:2名、要介護3:2名、要介護4:2名、要介護5:3名
要介護度の高い利用者がおり、急変リスクが高い一方で、重度の利用者を在宅で支える定期巡回の制度特性を最大限に活かせる利用者層であった。
- ・訪問件数・時間
訪問時間は1日20分未満の訪問が半数を占めており、主なサービス内容は、体調確認、内服確認、食事準備、水分補給、安否確認等となっている。その他、買い物や排泄介助、温度管理のための訪問も実施している。身体介護や認知機能低下に伴う支援・介護量の増加、体調不良時の対応、生活環境整備等で訪問時間が長くなることもある。
- ・看護・リハビリの訪問件数・時間
看護の訪問は、服薬管理や排便コントロール等を行い、体調不良時は随時訪問し体調確認を行っている。また、月1回利用者の状況を確認し、サービス計画の支援内容が適切であるかをモニタリング訪問で確認している。リハビリスタッフの訪問は、主治医の指示書に基づく訪問に加え、自宅内の環境と身体機能の評価を目的とした訪問を実施するが、当該期間の訪問実績はなかった。

◆サービス利用者状況◆

令和7年8月以降にサービスを開始した利用者（6名）

- ◎90歳 男性 石和町 要介護1（一人暮らし）
介護のみ 訪問1回/日（水曜日を除く毎日）
服薬介助・室温調整・体調確認
その他のサービス：通所リハビリテーション、長男の支援あり

- ◎78歳 女性 石和町 要介護2（一人暮らし） 生活保護
介護 訪問2回/日（毎日） 看護 訪問2回/月
買い物・清掃・体調確認等
その他のサービス：デイサービス 週2回

- ◎75歳 女性 石和町 要介護1（一人暮らし）
介護のみ 訪問1回/日（月・木曜日を除く毎日）
食事準備・買い物・体調確認等
その他のサービス：デイサービス 週2回

- ◎95歳 女性 石和町 要介護2（夫と二人暮らし）
介護 訪問2回/日（毎日） 看護 訪問2回/月
買い物・清掃・体調確認
その他のサービス：なし

- ◎85歳 男性 石和町 要介護5（妻と二人暮らし）
介護 訪問2回/日（水曜日を除く毎日） 看護 訪問2回/月
排泄介助・体調確認等
その他のサービス：デイサービス 週1回

- ◎66歳 女性 八代町 要介護2（一人暮らし）
介護のみ 訪問1回/日（毎日）
買い物・清掃・体調確認等
その他のサービス：デイサービス 週3回

◆今年度の事業所の取り組み◆

【緊急時・災害時のアクションカードの導入】

訪問職員は、急変時や地震・台風・停電などの災害が発生した際に、より迅速で確実な対応が求められる。基本的に1名で訪問しており、その場にいる職員の判断が重要となる。緊急時・災害時に落ち着いて対応するため「緊急時・災害時アクションカード」を導入した。今年度は、独居の利用者・身寄りのない利用者を対象とし、急な体調変化や災害が発生した際に、何を優先して行うべきかを分かりやすくまとめている。緊急時アクションカードには医療的な情報を、災害時アクションカードには災害時個別避難計画（簡易版）を添付して「落ち着いて行動すること」を最優先に考えている。この取り組みは、利用者の命と暮らしを守るため、そしてご家族や地域の皆さまに「安心して任せられる体制が整っている」と感じていただくものであり、地域の在宅生活を支える一員として緊急時にも落ち着いて対応できる体制づくりを進めている。

3. 質疑応答・ご意見

【質問】

- 救急搬送に関して、40分～1時間かかると聞く。急変時の受け入れ先は決まっているのか？
⇒ 主治医はいるが、受け入れは約束されていない。別の医療機関に搬送されるケースの方が多い。また、ご家族がすぐに来られない場合、受け入れを断られるケースもある。制度上、職員が救急車に同乗できないため、もどかしさを感じている。
- リハビリの実績がないのはなぜか？ニーズはあるのか？
⇒ 指示書にリハビリの指示がないため実績がない。定期巡回におけるリハビリは機能訓練ではなく、環境整備が中心となる。

【ご意見・ご提案】

- 災害時の情報収集手段としてラジオがあるが、山梨放送のラジオがAMからFMに切り替わっており、情報入手が困難になっているという声を聞く。ライフラインに関する情報提供も重要であると感じる。
- 救急搬送に関して、延命治療の希望がない場合や高齢であることを理由に受け入れを断られるケースがある。救急車はすぐに来てくれるが、病院へ搬送されるまでかなりの時間を要する。医療機関ごとの空病床情報を一元化（可視化）する仕組みがあればよいと思う。
- 介護人材不足に関連して、今後は介護ロボットや介護用ベッドなどの機器の進化が鍵となるのではないかと。
- 介護に対して「重労働・汚い・安月給」というイメージがある。介護人材不足の解決には、情報発信による正しいイメージの普及が必要ではないかと。
- 定期巡回サービスは知名度が高くない。ケアマネジャーに向けたアピール（情報発信）をしてはどうか。
- 本人の希望で要介護度の高い方が在宅で過ごすためには、定期巡回は良いサービスといえる。本人の希望通りに過ごすことは理想だが、介護者がいないと在宅生活を継続することは難しい。また、家族の介護負担が増えると施設入所を希望する傾向があり、そのバランスを保つことが非常に難しい。

4. おわりの挨拶

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション 関口事業所長より

経営は非常に厳しい状態ではあるが、今年度も事業を継続することができた。介護人材不足や人材確保が社会的にも難しく、課題は山積みではあるが、「自宅で生活したい」という思いに寄り添い、サービスを提供していきたい。

本日、皆さまからいただいたご意見を今後の事業運営に活かし、よりよいサービスが提供できるよう努力してまいります。また、事業を継続していくにあたり、皆さまのお力添えをいただきたいと思います。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

<次回開催について>

2026年度第1回の会議は、2026年8月を予定しております。